

さらに上質な走りを追求した、ハイブリッド車専用技術。

トップグレードならではの、ワンランク上の乗り心地と静粛性。

先進の走りをさらに心地よいものにするために、トップグレードにふさわしい乗り心地や静粛性が得られるよう、ハイブリッド車専用のセッティングを施しました。

【シャシー設定】

サスペンションまわりでは、IPU搭載による後部の重量増加に対し、リアのキャンバー角とトレッドを拡大することで旋回時の安定性を向上。そのうえでフロント・リアともにダンパー特性などを最適化し、しなやかでフラットな乗り心地を実現しています。また、低燃費化のためにフロントブレーキキャリパーにパッドリターン springs を設置し、ブレーキ非作動時の走行抵抗を低減。さらに、転がり抵抗の低いタイヤを採用するなど燃費向上に貢献しています。

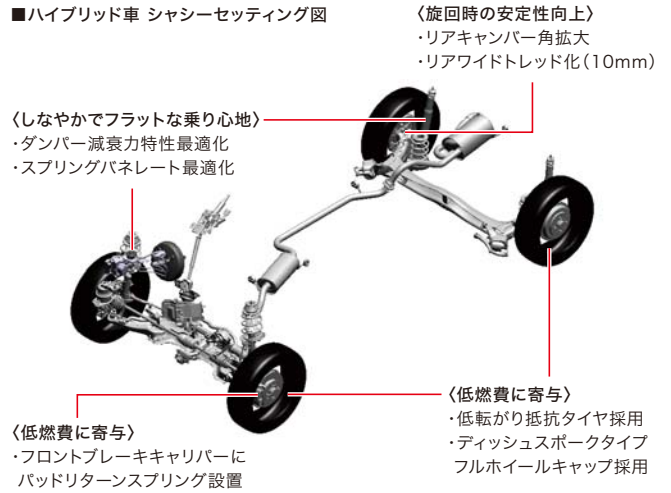
【高剛性化】

IPUの搭載を考慮し、左右のリアダンパー間をクロスメンバーとガセットで補強。リアホイールハウスのサス取り付け部の剛性を高めたことで優れた乗り心地と安定した走りを実現しています。

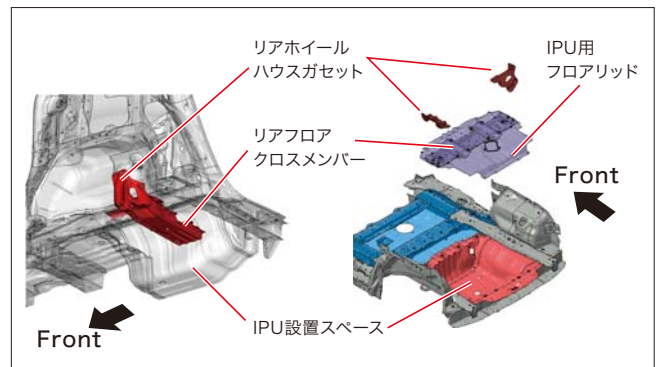
【静粛性向上】

ノイズの原因となる振動の伝達を抑えたうえで遮音材や吸音材を効果的に配置したガソリンエンジン車に対し、ハイブリッド車にはさらに専用の部材を施すとともに、遮音機能付フロントガラスを採用するなど、クラスを超えた静粛性を実現。モーターアシストによる静かな走行に加え、より快適な空間を生み出しています。

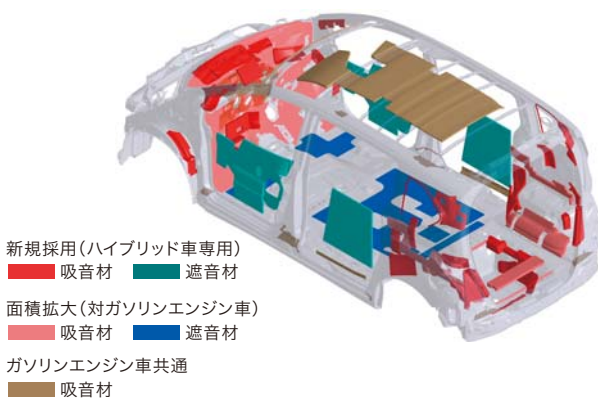
■ハイブリッド車 シャシーセッティング図



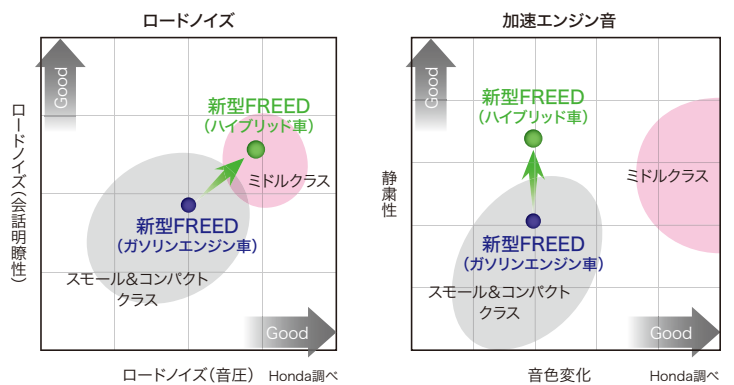
■ハイブリッド車 ボディ剛性対策図



■ハイブリッド車 吸音・遮音材配置図



■静粛性比較イメージ



前面、後面ともに施した衝突安全対策。

前面衝突に対しては、車重増に伴いフロントの衝突対応部材の適所を補強。後面衝突への対応としては、IPUを設置するためにリアフレームを新規の構造としました。また、設置する位置をリアホイール後端より前とすることで、IMAバッテリーの電気安全性能も確保しています。

■衝突安全対策図

